

令和4年度 学校評価書

学校法人 桃花学園
認定こども園 ももはな

1. 学校の教育目標

教育目標

- ・心も体も健全な子
- ・素直でやさしく、思いやりの気持ちを持った子
- ・どんなことでも自分で考え、意欲的に取り組み、工夫して最後までやりとげる子

2. 指導のねらい

- ・子ども達に様々な経験や体験ができる計画と実施
- ・日常の生活の中から、あそびが充実するための環境設定を考える

3. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画

- ① ・生活の中で、お互いに育ちあい、遊ぶ力、人とのかかわる事の楽しさを育てる
- ② ・保育の質の向上と保育者のスキルアップ「豊かな体験を通して、幼児の資質・能力を育む」・・・2年継続
- ③ ・地域の行事や施設等を訪問し地域の人々と関わる
・保護者や地域の子育て支援拠点

4. 自己評価項目の達成及び取組状況

具体項目	評価点	理由及び改善策
教育保育計画	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の主体性をどう引き出していかかが大切になっていくと思う。日々のあそびの中から、子どもの姿(あそび気持ち)をよく見て、何に興味を示しているのか、何を必要としているのか、さらにあそびを広め深めていくためにはそこを読み取る保育者の存在がとても重要であり、大きな環境となる事をたくさん学んだ。 ・保育者の見えない部分でも成長していることがある。困ったり、泣いたり、うれしかったりの感情は子ども同士の中で育っていくことが多いと思う。これからも様々なつながりの中から保育を組み立てていこうようにしたい。
研究計画	A	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、沢山の経験や体験をしていくことから始まる。実践したことがすぐに結果として見えてはこないが子ども達の力を引き出しながら、十分遊び込める場所や時間の保障を大事にした。これからもさらに達成感や満足感が得られるような経験を積みながら、資質・能力につながっていけるよう保育を考えていきたい。 ・研修時間の確保については常に課題であるが、一人ひとりの意識の持ち方で取り組みこともあると思う。
地域連携計画	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響もあり、地域の行事や活動も減ってきている。 未就園の会等においても、感染予防対策を講じても参加者が少ない現状であった。今後は、積極的な広告子ども達が園外に出て行き、「ももはな」を知ってもらう機会を多く取っていくことも大事であると思う。 ・様々な事柄において、園外に発信していくことがとても大切だと思う。その一番の発信者は、保護者であることを忘れずに、日々の保育や子どもからのつぶやきが園の良さを広げていくことにつながっていけるよう、小さな積み重ねを大事にしていきたい。

◎「4. 5. 」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である